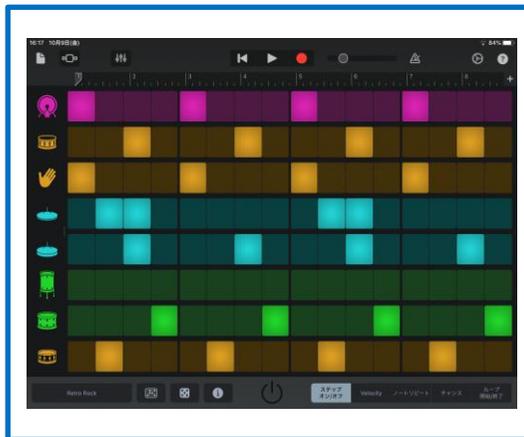


小学校5年生 教科名 音楽



合奏にリズム伴奏を付けよう

音の並びを視覚化した「音の模様」を手掛かりに、ドラムパートリズム伴奏を創作することを通して、合奏曲にふさわしいリズムを考えることを目指します。



- 使用言語○  
GarageBand  
※左図は「ビートシーケンサー」による曲の作成例
- 使用環境○  
タブレットPC  
※5～6人の班ごとに、1台ずつ使用

○実践授業の展開例○

本時の目標

反復や音の重なるの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音を音楽へと構成することを通して、曲にふさわしいリズムアンサンブルをどのように作るかについて、思いや意図をもつことができる。

導入

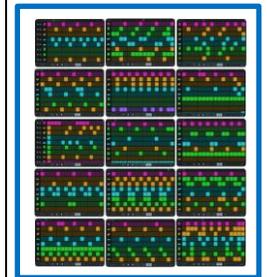
- これまで練習していたリコーダー2パートとピアノの合奏曲の録音を聴く。
  - ・もっと賑やかにするにはどうしよう。
  - ・ドラムがあったらいいなあ。
- 今回はタブレットPCに演奏してもらおう。



展開

- 原曲を少しだけ聴かせ、ふさわしい雰囲気になるコツを探る。
  - ①同じ模様が繰り返されるようにする。
  - ②楽器ごとに模様を変える。
  - ③少しだけ模様から外れた音を足す。
- 班ごとに、模様を試行錯誤しながらリズムを作る。
- 班で作った事例を紹介していく。  
ほかの班のアイディアも参考にしながら、リズムを仕上げていく。

補足・留意点等  
テンポ・拍子・音色はあらかじめ指定する。



まとめ

- できたリズムに合わせて演奏する。  
本番は全ての班の作品を繋げて使おう。

